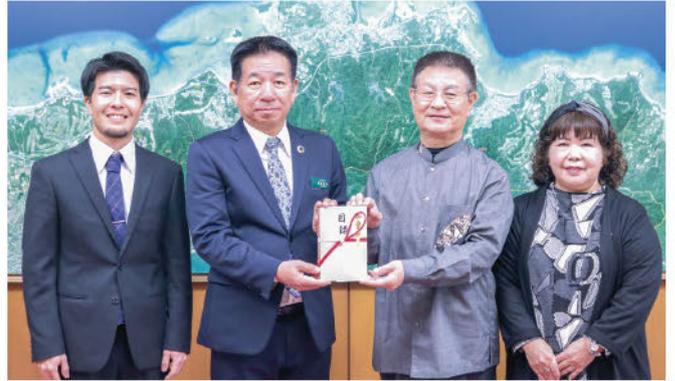


環境保全に役立てて

1月16日、琉球ガラス匠工房(松田英吉社長)から自社の商品「おんなブルー」の売上げの一部20万円をサンゴの村づくり応援基金に寄付していただきました。寄付は昨年に続き2回目となります。

「おんなブルー」は、恩納村の海を表現した商品となっており、寄付金は環境保全活動に役立てます。



サンゴ保全活動に寄付

太田区人材育成会は2月4日、農業体験事業収穫祭での販売収益金を「サンゴの村宣言」応援寄付金に贈呈しました。

太田区では、体験事業の一環として9月に野菜の植え付け、種まき、田植えなどの作業を実施し、12月に収穫祭として野菜の販売をしています。残念ながら稲については、イノシシなどの鳥獣被害にあいましたが、収穫祭には多くの方から協力をいただき、子どもたちから「感謝を込めてサンゴの再生事業へ寄付をします」とありました。



シンカレタスOTF会(恩納村観光関連施設代表者会(前GM会))取り扱いスタート

恩納村・川上村友好都市提携によって平成28年度よりスタートした「シンカプロジェクト」は、長野県川上村(レタスの一大産地)から栽培指導を受け、村内事業所(ホテルや飲食店)へ供給することで地産地消を推進、野菜生産者の育成を図るべく始めました。

初期の段階では栽培技術不足による品質、規格のバラつき、北風や鳥害などの川上村での栽培環境とは異なる課題も浮きぼりとなり、安定的な生産が行えず販売先は、沖縄県内コープ、おんなの駅をメインとしていました。

販路が少ないため、収穫最盛期には出荷が集中し供給過剰となり価格低下を招くなどの課題があり、令和2年以降は、品質も安定してきましたが、新型コロナウイルス感染症など市場が停滞するなどの販売環境の大きな変化に対応せざるを得ない状況が続きました。

今回、ホテル側との意見交換を踏まえて、プロジェクト当初から販路として村の取り組みを支えてくださっているコープ沖縄、兼正青果に加えてOTF会での取り扱いも本格的に開始することとなりました。

